

日本学術会議主催公開講演会「医療のイノベーション －信頼に支えられた医療の実現のために－」の開催

■ 開催趣旨

安心して日々の暮らしを送って行くためには、必要としている時に必要な医療を受けられることが必須の条件の一つである。しかし、医療を安定的・持続的に提供できる基盤、特に病院の医療に大きな問題が起きている。産科や小児科における医師不足、救急医療の問題などは、その特徴的な現れである。医療が社会にとって必須のものであるならば、必要な医療を適切に提供できるように、医療のあり方のイノベーションを行わなければならない。そのためには、現実的で合理的な医療の将来像を描き、必要となる負担をどうするかを論じることから始めなければならない。それに対して、医師を始めとする医療者は、国民の必要としている医療を保障し、持続的に提供できる体制を確保することが求められる。医療が大きな曲がり角に立っている現在、医療のイノベーションを行い、我が国の医療が信頼に支えられて持続していくことができるよう、いかに知恵を傾けるべきかを考える機会としたい。

■ 主催：日本学術会議

■ 共催：(社)日本内科学会、(社)日本外科学会、(社)日本病院会

■ 日時：平成20年8月25日(月) 14:00～17:00

■ 会場：日本学術会議講堂(参加無料、定員300名)

■ プログラム(予定)

【コーディネーター：永井良三(日本学術会議第二部会員)】

- (1) 開会挨拶 金澤一郎(日本学術会議会長)
- (2) 開会に当たって
信頼に支えられた医療の実現のために 桐野高明(日本学術会議第二部会員)
- (3) 講演
 - ①「医療アクセスの国際比較」
田中 滋(慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授)
 - ②「医療現場からみた課題」
山本修三((社)日本病院会会長)
 - ③「『社会システムデザイン』手法による医療システム改革の提案」
横山禎徳(社会システムデザイン研究所ディレクター・社会システムデザイナー)
 - ④「地域医療を守りたい・・・住民としてできること」
丹生裕子(県立柏原病院の小児科を守る会代表)
- (4) パネルディスカッション 司会 永井良三(日本学術会議第二部会員)

■ 問合せ・申込み先：日本学術会議事務局企画課情報係(公開講演会担当)

〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34

電話：03-3403-6295/ファクシミリ：03-3403-6224

電子メール：sympo@sc.j.go.jp (講演会名、氏名、連絡先等を御記載の上お申し込みください。)

■ 関連ウェブサイト：<http://www.lhweb.jp/ca/sc.j> (FAX 申込用紙のダウンロードもできます。)

以上